

2018年
合格目標

1.5年本科生

3科目(「情報」「法務」「中小」)スタートコース
2科目(「法務」「中小」)スタートコース
1科目(「中小」)スタートコース

※科目は上記の組み合わせのみです。

期間限定販売

2016年12月1日(木)～2017年5月7日(日)

コースの
特長!!

全161回(3科目スタートコース)※
全141回(2科目スタートコース)※
全121回(1科目スタートコース)※
※科目合格に関係なく受講できる最多講義回数で算出しています。

1次公開模試(2017年・2018年)

2次実力チェック模試 + 2次公開模試(2018年)

2017年の1次試験で暗記系科目である「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」を合格し、2018年の1次・2次試験で完全合格を目指すコースです。学習負担を分散し、余裕のあるペースでより確実に合格したい方にオススメです。

POINT
4

1.5年本科生なら受講料が断然お得!

受講料(消費税8%込・教材費込)

コース	学習メディア	通常受講料
3科目 スタートコース	教室講座・個別DVD講座・Web通信講座	¥365,000
	DVD通信講座	¥395,000
2科目 スタートコース	教室講座・個別DVD講座・Web通信講座	¥355,000
	DVD通信講座	¥385,000
1科目 スタートコース	教室講座・個別DVD講座・Web通信講座	¥345,000
	DVD通信講座	¥375,000

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金(¥10,000・消費税8%込)が必要です。
会員番号につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。
※コースNo.、クラスNo.、割引制度の詳細は11ページをご覧ください。
(注)1.5年本科生は教育訓練給付制度(一般)の指定講座ではございません。

もし1.5年本科生(3科目スタートコース)と同じ内容のカリキュラムをそれぞれ申し込んだ場合、

1年目	「情報」「法務」「中小」の1次単科生[基本+直前編]
1年目	「情報」「法務」「中小」の1次上級単科生[応用編]
1年目	1次公開模試
2年目	1・2次ストレート本科生PLUS
2年目	「情報」「法務」「中小」の1次上級単科生[応用編] ※本科生割引制度を適用。

¥512,900相当(注)

1.5年本科生なら最大¥147,900もお得!

(注)1年目、2年目とも、2017年合格目標の受講料をベースに算出しています。

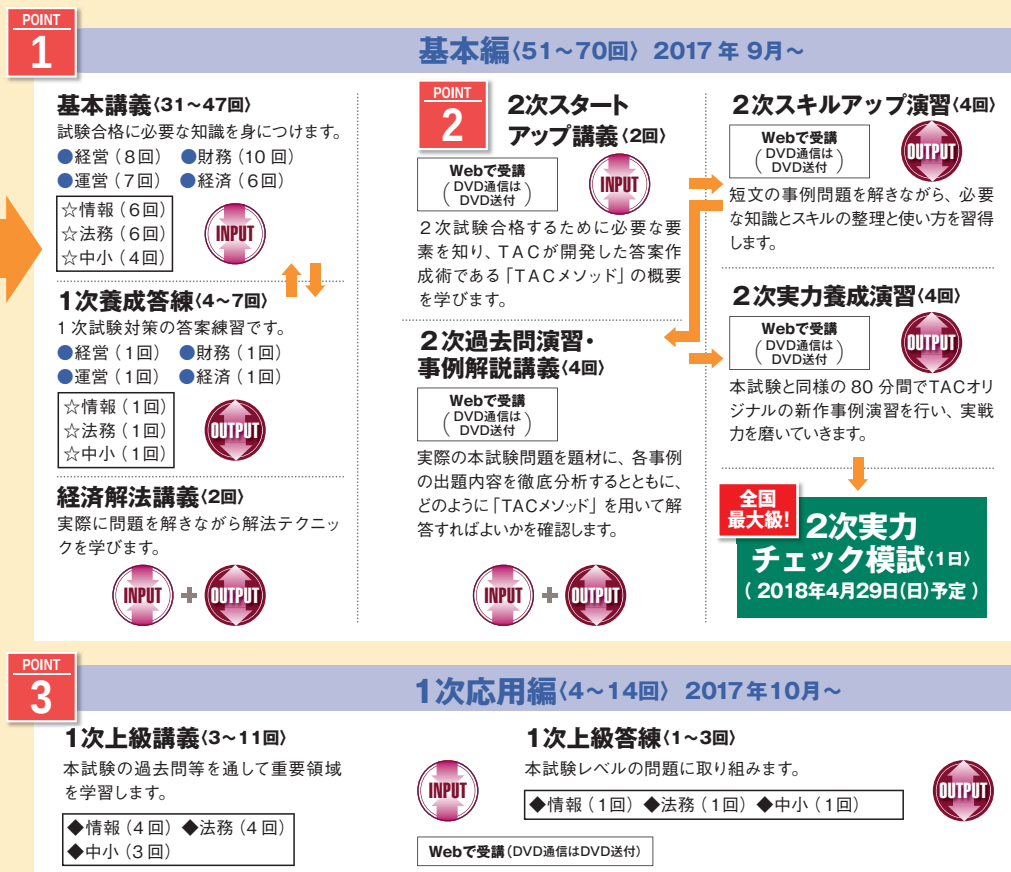
2017年合格目標

1次試験対策 1～3科目



2018年合格目標

1次試験対策 4～7科目+ 2次試験対策



開講日一覧

教室講座 (随時入学OK! 開講日が過ぎても、Webフォロー(標準装備)で追いつくことができます。)

校舎	クラス	開講日			
		3科目スタートコース	2科目スタートコース	1科目スタートコース	
池袋校・八重洲校・横浜校	月・木夜	2/16(木) 夜	3/13(月) 夜	4/6(木) 夜	
新宿校・渋谷校・名古屋校・梅田校	火・金夜	2/17(金) 夜	3/14(火) 夜	4/7(金) 夜	
仙台校・新宿校・渋谷校・立川校・大宮校・京都校・なんば校・神戸校	土曜 午前・午後	2/18(土) 午後	3/18(土) 午前	4/8(土) 午後	
八重洲校	土曜 午後②・夜	2/18(土) 夜	3/18(土) 午後②	4/8(土) 夜	
新宿校・池袋校・渋谷校・町田校・横浜校・津田沼校・梅田校・広島校	日曜 午前・午後	2/19(日) 午後	3/19(日) 午前	4/9(日) 午後	
八重洲校・名古屋校	日曜 午前・午後①	2/19(日) 午後①	3/19(日) 午前	4/9(日) 午後①	
福岡校	日曜 午後①・午後②	2/19(日) 午後②	3/19(日) 午後①	4/9(日) 午後②	

【教室講座時間帯】

午前 10:00～12:30 / 午後 14:00～16:30 / 夜 19:00～21:30

※下記の校舎は上記の講義時間帯と異なります。ご注意ください。

【仙台校】 午前 10:30～13:00 / 午後 9:15～11:45 / 夜 12:30～15:00 / 午後② 15:45～18:15 / 夜 19:00～21:30

【名古屋校】 午前 9:30～12:00 / 午後① 13:00～15:30 / 夜 19:00～21:30

【広島校】 午前 10:00～12:30 / 午後 13:30～16:00 / 午後① 12:30～15:00 / 午後② 15:30～18:00

Information

万が一、2017年1次試験の「情報」「法務」「中小」に科目合格できなかった場合でも、2018年合格目標の「情報」「法務」「中小」の講義・答練(上記の図中の☆)を無料で受講できます(上記の図中の◆は2017年合格目標で受講した科目についてのみ受講できます)。

個別DVD講座 (随時入学OK! 視聴開始日以降でも随時受講が可能です。)

校舎	視聴開始日		
	3科目スタートコース	2科目スタートコース	1科目スタートコース
札幌校・仙台校・水道橋校・新宿校・池袋校・渋谷校・八重洲校・立川校・町田校・横浜校・大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・なんば校・神戸校・広島校・福岡校	2/17(金)	3/13(月)	4/6(木)

【個別DVD受講時間帯】①9:30～12:30 / ②12:30～15:30 / ③15:30～18:30 / ④18:30～21:30 ※日曜日は④の時間帯はありません。※受講可能な曜日・時間帯は一部校舎により異なります。

Web通信講座 DVD通信講座 (随時入学OK! 発送開始日以降でも随時受講が可能です。発送済みの教材をまとめてお送りします。)

学習メディア	配信開始日・発送開始日
Web通信講座	2/17(金) より順次配信 ※教材は2/15(水)より順次発送
DVD通信講座	2/15(水) より順次発送

※2017年合格目標部分の配信は2017年10月31日(火)に終了します。
※2018年合格目標部分の配信は2018年10月31日(水)に終了します。

戦略的カリキュラム

POINT

1

1次試験対策は暗記系科目を2017年度に攻略することで、

1次試験対策として、暗記系に属し2次試験との関連性が低い「情報」「法務」「中小」を先に【科目合格】することで、2018年度は2次試験との関連性の高い「経営」「財務」「運営」に集中することができるカリキュラムを組んでいます。1・2次試験対策の相乗効果により、効率良く合格を目指すことができます。

“科目合格”とは？Ⅰ

～まずは試験制度を知る～

1.5年本科生の戦略的カリキュラムを知る上で、中小企業診断士試験制度の特長である1次試験の【科目合格】制度を理解することが必要です。まずは、中小企業診断士試験合格から登録までの道のりを確認してみましょう。

中小企業診断士登録までの道のり

第1次試験			
試験実施日	8月上旬〔2016年度は8月6日（土）、7日（日）＜2日間＞〕		
問題形式	マークシート形式による多肢選択式（四肢択一または五肢択一）		
試験科目	試験科目	時間	配点
1回目	A. 経済学・経済政策	60分	100点
	B. 財務・会計	60分	100点
	C. 企業経営理論	90分	100点
	D. 運営管理（オペレーション・マネジメント）	90分	100点
	E. 経営法務	60分	100点
	F. 経営情報システム	60分	100点
2回目	G. 中小企業経営・中小企業政策	90分	100点
合格基準	① 総点数による合格基準 免除科目を除く全科目を受験し、総点数の60%以上であって、かつ1科目でも満点の40%未満のないことを基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。		
合格の有効期間	●1次試験合格（全科目合格）の有効期間は2年間（合格年度とその翌年度まで2次試験を受験できる）。 ●1次試験の合格までの科目合格の有効期間は3年間（翌年度と翌々年度まで合格した科目を免除申請できる）。		
合格発表	9月上旬〔2016年度は9月6日（火）〕		
合格率	17.7%（受験者数 13,605 人のうち合格者数 2,404 人）〔2016 年度〕		

第2次試験

筆記試験	試験実施日	10月中旬～下旬〔2016年度は10月23日（日）〕				
	問題形式	各設問 15～200字程度の記述式				
	試験科目	試験科目		時間	配点	
		午前	【事例Ⅰ】組織（人事を含む）を中心とした経営の戦略および管理に関する事例		80分	100点
			【事例Ⅱ】マーケティング・流通を中心とした経営の戦略および管理に関する事例		80分	100点
		午後	【事例Ⅲ】生産・技術を中心とした経営の戦略および管理に関する事例		80分	100点
	【事例Ⅳ】財務・会計を中心とした経営の戦略および管理に関する事例		80分	100点		
筆記試験結果発表	12月上旬〔2016年度は12月9日（金）〕					
口述試験	受験資格	当該年度の2次筆記試験合格者 ※口述試験を受ける資格は当該年度のみ有効であり、翌年に持ち越すことはできません。				
	試験実施日	12月中旬〔2016年度は12月18日（日）〕				
	問題形式	中小企業の診断および助言に関する能力について、筆記試験の事例などをもとに、個人ごとに面接（約10分間）				
	合格発表	12月下旬～1月上旬〔2016年度は2017年1月5日（木）〕				
	合格基準	筆記試験における総点数の60％以上であって、かつ1科目でも満点の40％未満がなく、口述試験における評定が60％以上であることを基準とする。				
	合格の有効期間	2次試験合格後、3年以内に実務従事・実務補習を受ける必要がある。				
	合格率	19.1％（受験者数 4,941 人のうち合格者数 944 人）〔2015 年度〕				

登録

実務補習・実務従事

ココが変わった！

POINT

2

TACならではの“充実”の2次試験対策で、学習を優位に進める！

1次試験日から2次筆記試験日までわずか2ヵ月半程度しかなく（上記の「“科目合格”とは？Ⅰ」を参照）、1次試験を終了してから2次試験対策に取り組んでいては時間に余裕がありません。そこで、TACでは1次試験対策と並行して、早期から2次試験対策に着手します。「2次スキルアップ演習」「2次過去問演習・事例解説講義」「2次実力養成演習」など、実戦力の養成を重視した戦略的カリキュラム・TACオリジナル教材で2次試験合格への大きな“アドバンテージ（優位性）”を手に入れてください。



講師からの
メッセージ

余裕のあるペースで、じっくりと合格が狙えます！

「1.5年本科生」は、ムリ・ムダのないカリキュラムです。暗記系科目を先に攻略後、早期の2次試験対策により学習効果を飛躍的に高めることができます。
今の状況を劇的に変えたい方は、今すぐ学習をスタートしましょう！

タカ ハタ ミツ ノブ
高畑 光伸 講師



2018年度の学習負担を軽減！

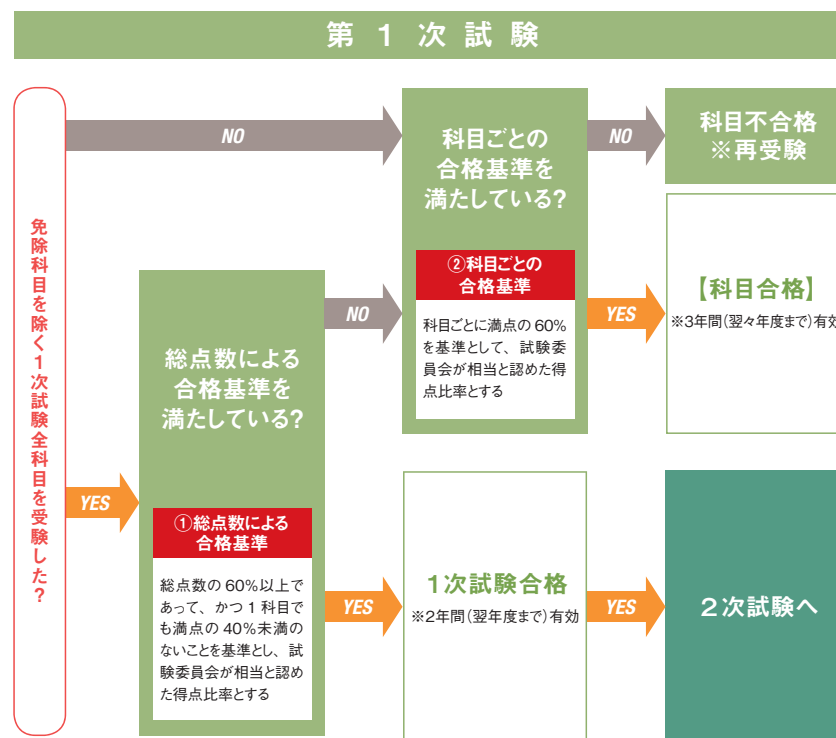
Information

1.5年本科生（3科目スタートコースの場合）は、まず、2017年度の1次試験で「情報」「法務」「中小」を「②科目ごとの合格基準」による【科目合格】を目指します。次に、2018年度では残りの「経営」「財務」「運営」「経済」で「①総点数による合格基準」による【1次試験合格】を目指します。学習期間に余裕を持ち学習量を分散することで、より確実に合格を実現するためのカリキュラムです。

“科目合格”とは？Ⅱ

～合格基準の仕組みを知る～

次に1次試験の合格基準がどのような流れで適用されるのかを確認してみましょう。



1次試験の合格基準は、「①総点数による合格基準」のほか、「②科目ごとの合格基準」があります。「②科目ごとの合格基準」は科目ごとに設けられ、3年以内（合格年度を含む）で全7科目に合格した時点で「1次試験合格」となります。一部の科目だけ合格した場合は「科目合格」となり、翌年度・翌々年度の試験では、受験者の申請により当該科目の試験が免除されます（科目合格は1次試験合格となった時点で、それまでの科目合格による受験免除の権利はなくなります）。

〈例〉

1年目	経済	財務	経営	運営	法務	情報	中小	総点数
2017年度	未受験	未受験	未受験	未受験	60	65	70	195/700

1年目は「免除科目を除く1次試験全科目を受験してない」ので、「①総点数による合格基準」が適用されず、「②科目ごとの合格基準」が適用されます。上記の場合、各科目とも満点の60%以上であるので、それぞれ「**科目合格**」となります。

2年目	経済	財務	経営	運営	法務	情報	中小	総点数
2018年度	45	60	70	75	免除	免除	免除	250/400

2年目は3科目を免除申請した上で「免除科目を除く1次試験全科目を受験している」ので、「①総点数による合格基準」が適用されます。上記の場合、4科目受験なので総点数400点、その60%以上である240点以上で、かつ1科目でも40%未満がないので「**1次試験合格**」となります。万が一、これに満たない場合、1次試験不合格となりますが、各科目で「②科目ごとの合格基準」が適用されます。

POINT

3

TACが誇る“鉄壁”の1次試験対策で科目合格を確実にする！

科目合格を目指す2017年度の1次試験では、必ず「各科目とも満点の60%以上」でなければなりません（上記の「“科目合格”とは？Ⅱ」を参照）。そこで、TACでは科目合格を確実にしていただくよう特別に「1次上級講義」「1次上級答練」をカリキュラムに組み込んでおります。必ず押えておきたいポイントや合否の分かれ目となる論点をピックアップし、実際に問題を解きながら解法テクニックを身につけていきますので、難化傾向にある「情報」「法務」でも安心して学習に臨めます。

